

# インド株式ファンド（毎月分配型） ＜愛称 ホットスパイス＞

## 運用報告書（全体版）

第17期（決算日 2015年10月14日） 第19期（決算日 2015年12月14日） 第21期（決算日 2016年2月15日）  
第18期（決算日 2015年11月16日） 第20期（決算日 2016年1月14日） 第22期（決算日 2016年3月14日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。  
「インド株式ファンド（毎月分配型）」は、2016年3月14日に第22期の決算を行ないましたので、第17期から第22期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2014年5月16日から2024年3月14日までです。
運用方針	主として、インド企業が発行する株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期から第3計算期までは収益分配を行ないません。第4計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

<642347>

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
<http://www.nikkoam.com/>

### 当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

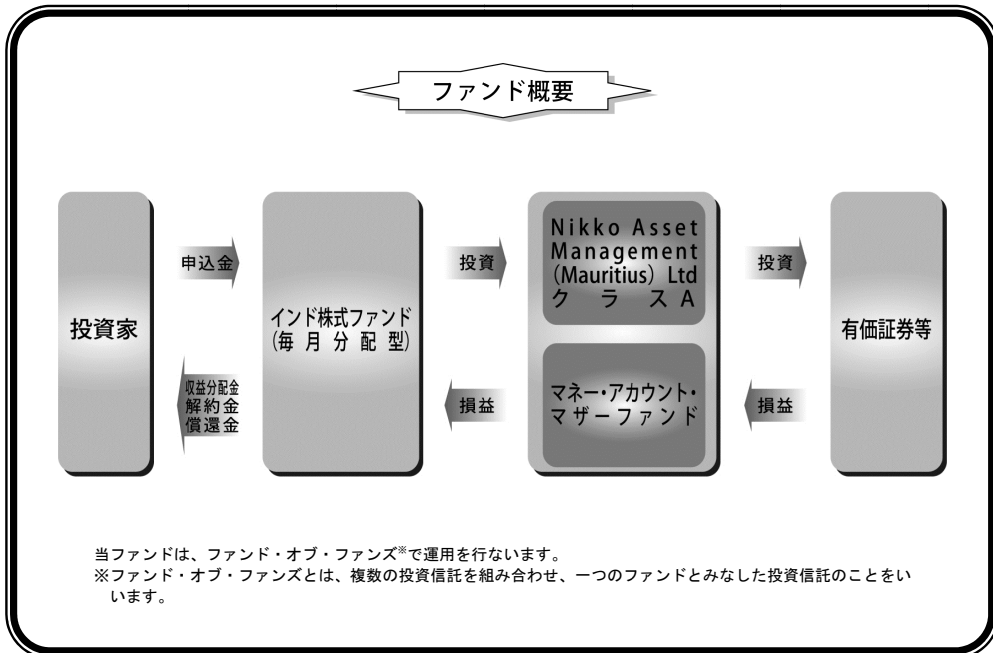
## Contents

○ インド株式ファンド（毎月分配型） ..... 1

（ご参考）投資対象先の直近の内容

◆Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA ..... 14

◆マネー・アカウント・マザーファンド ..... 20



日興アセットマネジメントでは、本資料の他に当ファンドに関する情報等を別途開示している場合がございます。  
 詳しくは、当社ホームページ (<http://www.nikkoam.com/>) またはお取引先の窓口までお問い合わせください。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額	資 産 額
		税 分	込 配	み 金					
(設定日)	円								百万円
2014年5月16日	10,000		—		—		—		12
1期(2014年6月16日)	10,432		—		4.3		0.1	102.2	22
2期(2014年7月14日)	10,365		—		△0.6		0.1	94.9	31
3期(2014年8月14日)	10,719		—		3.4		0.1	97.0	34
4期(2014年9月16日)	11,500		50		7.8		0.1	99.2	40
5期(2014年10月14日)	11,297		50		△1.3		0.1	97.0	43
6期(2014年11月14日)	12,811		50		13.8		0.1	97.1	46
7期(2014年12月15日)	12,599		50		△1.3		0.1	97.1	48
8期(2015年1月14日)	12,856		50		2.4		0.1	98.9	52
9期(2015年2月16日)	13,718		50		7.1		0.1	98.0	79
10期(2015年3月16日)	13,634		50		△0.2		0.1	114.8	84
11期(2015年4月14日)	13,916		50		2.4		0.1	97.2	85
12期(2015年5月14日)	12,401		50		△10.5		0.1	97.0	81
13期(2015年6月15日)	12,475		50		1.0		0.1	95.7	85
14期(2015年7月14日)	13,126		100		6.0		0.1	96.7	86
15期(2015年8月14日)	13,099		100		0.6		0.1	96.5	80
16期(2015年9月14日)	11,566		100		△10.9		0.1	93.6	69
17期(2015年10月14日)	11,903		100		3.8		0.1	97.0	71
18期(2015年11月16日)	11,292		100		△4.3		0.1	97.0	68
19期(2015年12月14日)	10,807		100		△3.4		0.1	96.6	66
20期(2016年1月14日)	10,404		100		△2.8		0.1	96.6	66
21期(2016年2月15日)	8,928		100		△13.2		0.1	96.5	55
22期(2016年3月14日)	9,631		100		9.0		0.1	97.0	60

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	託 券 率
			騰 落 率	騰 落 率				
第17期	(期 首) 2015年9月14日	円 11,566	% —		% 0.1		% 93.6	
	9月末	11,653	0.8		0.1		94.9	
	(期 末) 2015年10月14日	12,003	3.8		0.1		97.0	
第18期	(期 首) 2015年10月14日	11,903	—		0.1		97.0	
	10月末	12,016	0.9		0.1		96.9	
	(期 末) 2015年11月16日	11,392	△ 4.3		0.1		97.0	
第19期	(期 首) 2015年11月16日	11,292	—		0.1		97.0	
	11月末	11,319	0.2		0.1		97.2	
	(期 末) 2015年12月14日	10,907	△ 3.4		0.1		96.6	
第20期	(期 首) 2015年12月14日	10,807	—		0.1		96.6	
	12月末	11,222	3.8		0.1		98.5	
	(期 末) 2016年1月14日	10,504	△ 2.8		0.1		96.6	
第21期	(期 首) 2016年1月14日	10,404	—		0.1		96.6	
	1月末	10,090	△ 3.0		0.1		96.9	
	(期 末) 2016年2月15日	9,028	△13.2		0.1		96.5	
第22期	(期 首) 2016年2月15日	8,928	—		0.1		96.5	
	2月末	8,898	△ 0.3		0.1		94.4	
	(期 末) 2016年3月14日	9,731	9.0		0.1		97.0	

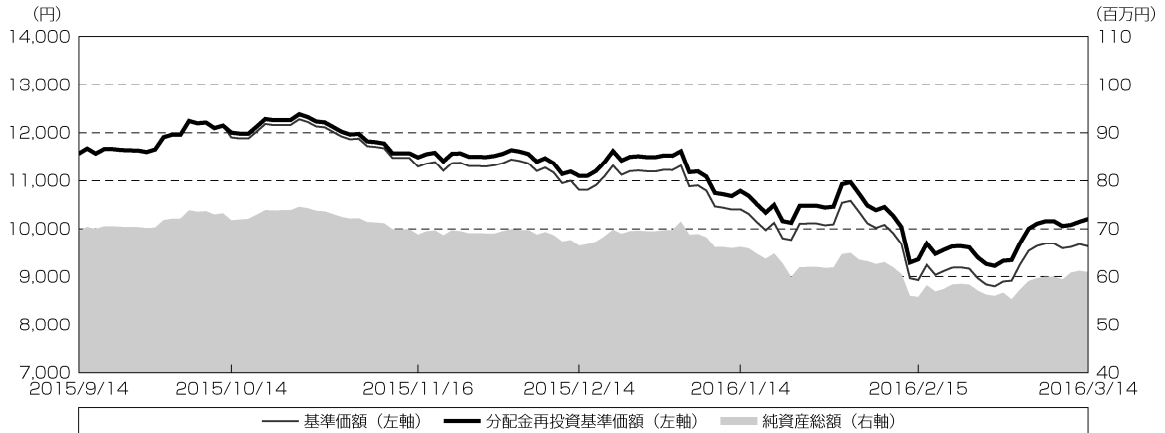
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

(2015年9月15日～2016年3月14日)

## 作成期間中の基準価額等の推移



第17期首：11,566円

第22期末：9,631円（既払分配金（税込み）：600円）

騰落率：△11.8%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2015年9月14日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、インドの企業が発行する株式を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・中国において政策金利の引き下げなど追加の金融緩和策が実施されたこと。
- ・欧州における追加金融緩和策への期待が高まったこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・インドルピーが対円で下落したこと。
- ・原油価格の下落を背景に世界的に景気減速への懸念が強まったこと。
- ・米国における政策金利の引き上げ懸念を背景に、投資家の投資意欲が後退したこと。

## 投資環境

## （株式市況）

インド市場の株価は、期間の初めから2015年10月にかけてインドの利下げや米国の早期利上げ観測の後退などから上昇しました。その後、中国の景気減速による世界経済の成長鈍化への懸念や米国における政策金利の引き上げ懸念などが株価の重しとなりました。12月から2016年2月にかけては、原油などの資源価格の下落や、中国における人民元安の進行などを背景とする景気減速懸念の強まり、中東諸国間の関係悪化などによる投資家のリスク回避姿勢などから、株価は下落しました。3月にはインド中央銀行による利下げ期待が高まったことなど受け、期間末にかけて株価は上昇基調となりました。

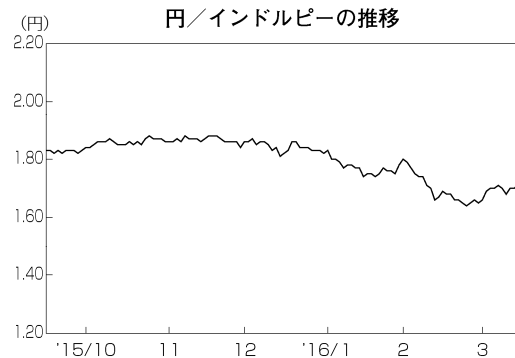
## （国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めから2016年2月前半までは、概ね0.05～0.09%の範囲で安定的に推移しましたが、2月後半以降は日銀によるマイナス金利の導入開始を受けて低下し、マイナス金利水準で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めから2015年10月にかけては、概ね0.00%近辺でもみ合いの推移となりました。11月には、年末の資金需要に備えたTB需要の高まりなどを背景に-0.11%台まで低下したものの、その後は-0.01%台まで上昇しました。2016年1月下旬以降は、日銀によるマイナス金利の導入を受けて低下し、-0.08%台で期間末を迎えました。

## （為替市況）

期間中における円／インドルピー相場は、右記の推移となりました。



## 当ファンドのポートフォリオ

### （当ファンド）

当ファンドでは、収益性を追求するため、「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

### （Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA）

当ファンドは、金融セクターのエクスポージャーを引き下げる一方で、ヘルスケアセクターのエクスポージャーを引き上げました。一般消費財セクターのエクスポージャーをやや引き上げる一方で、生活必需品セクターはアンダーウェイトを維持しました。ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を重視したボトムアップの銘柄選択によって、業績の伸びが相対的に高くて勢いがあり、バリュエーション（株価評価）が妥当な水準にある銘柄に投資を行ないました。

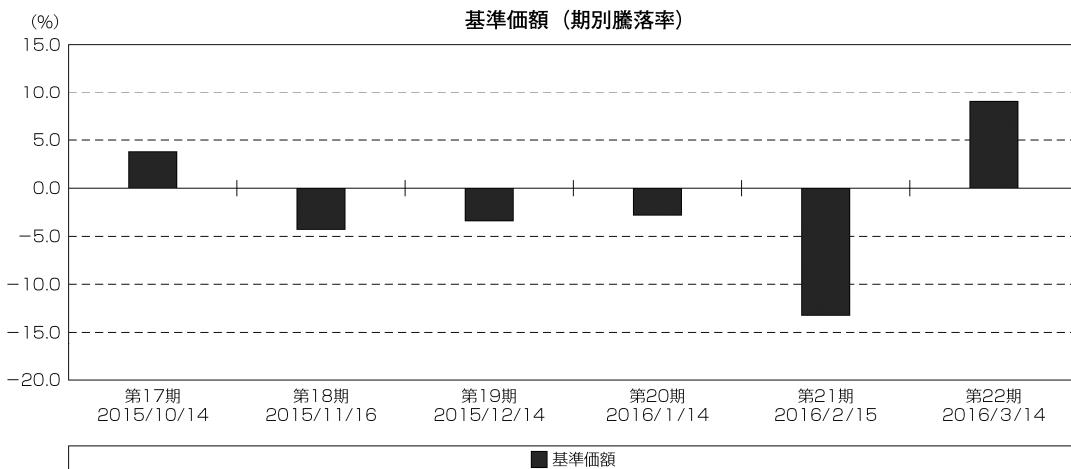
### （マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

## 分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりいたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
	2015年9月15日～ 2015年10月14日	2015年10月15日～ 2015年11月16日	2015年11月17日～ 2015年12月14日	2015年12月15日～ 2016年1月14日	2016年1月15日～ 2016年2月15日	2016年2月16日～ 2016年3月14日
当期分配金	100	100	100	100	100	100
（対基準価額比率）	0.833%	0.878%	0.917%	0.952%	1.108%	1.028%
当期の収益	0	25	66	27	27	—
当期の収益以外	99	74	33	72	72	100
翌期繰越分配対象額	2,963	2,889	2,855	2,783	2,710	2,610

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

#### （当ファンド）

引き続き、原則として「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

#### （Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA）

引き続き、インドの経済成長を享受することをめざし、分散投資による運用を行なう方針です。ファンダメンタルズが強く、収益の成長性に優れた企業を、ボトムアップアプローチにより個別に選別することに注力していきます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

#### （マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



## ○1万口当たりの費用明細

(2015年9月15日～2016年3月14日)

項 目	第17期～第22期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 58	% 0.537	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(10)	(0.091)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(47)	(0.430)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.050	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	( 5)	(0.047)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	63	0.587	
作成期間の平均基準価額は、10,866円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

## ○売買及び取引の状況

(2015年9月15日～2016年3月14日)

## 投資信託証券

銘 柄	第17期～第22期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
国内	千口	千円	千口	千円
Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA	7,219	11,636	5,349	8,207

(注) 金額は受け渡し代金。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第17期～第22期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口 17	千円 17	千口 27	千円 27

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年9月15日～2016年3月14日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;インド株式ファンド（毎月分配型）&gt;

区 分	第17期～第22期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
投資信託証券	11	11	100.0	8	8	100.0
金銭信託	20	20	100.0	20	20	100.0

## &lt;マネー・アカウント・マザーファンド&gt;

区 分	第17期～第22期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金銭信託	1,253	1,253	100.0	1,253	1,253	100.0

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2015年9月15日～2016年3月14日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2015年9月15日～2016年3月14日)

当作成期首残高 (元本)	当作成期設定 元本	当作成期解約 元本	当作成期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 12	百万円 —	百万円 —	百万円 12	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2016年3月14日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第16期末		第22期末			
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
			千口		千口	千円	%
Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd	クラスA		37,942		39,812	59,073	97.0
合	計		37,942		39,812	59,073	97.0

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 親投資信託残高

銘	柄	第16期末		第22期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド			69		60	60

(注) 親投資信託の2016年3月14日現在の受益権総口数は、499,723千口です。

## ○投資信託財産の構成

(2016年3月14日現在)

項	目	第22期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
投資証券		59,073	93.4
マネー・アカウント・マザーファンド		60	0.1
コール・ローン等、その他		4,108	6.5
投資信託財産総額		63,241	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第17期末	第18期末	第19期末	第20期末	第21期末	第22期末
	2015年10月14日現在	2015年11月16日現在	2015年12月14日現在	2016年1月14日現在	2016年2月15日現在	2016年3月14日現在
	円	円	円	円	円	円
<b>(A) 資産</b>	<b>72,561,088</b>	<b>69,609,841</b>	<b>67,282,702</b>	<b>67,238,065</b>	<b>56,750,117</b>	<b>63,241,665</b>
コール・ローン等	2,850,454	2,291,920	2,800,722	3,050,315	2,087,037	4,107,299
投資証券(評価額)	69,564,552	66,676,471	64,176,923	63,876,386	53,821,897	59,073,836
マネー・アカウン・マザーファンド(評価額)	70,092	71,704	69,211	68,421	62,534	60,530
未収入金	75,986	569,743	—	—	541,453	—
未収配当金	—	—	235,842	242,938	237,194	—
未収利息	4	3	4	5	2	—
<b>(B) 負債</b>	<b>818,970</b>	<b>839,519</b>	<b>853,859</b>	<b>1,081,197</b>	<b>977,635</b>	<b>2,321,270</b>
未払金	74,458	108,503	122,199	307,525	212,106	763,178
未払収益分配金	602,722	609,004	614,697	635,896	624,708	632,512
未払解約金	33,216	—	3,380	12,992	14,905	806,222
未払信託報酬	63,353	70,580	57,204	62,875	58,877	48,157
その他未払費用	45,221	51,432	56,379	61,909	67,039	71,201
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>71,742,118</b>	<b>68,770,322</b>	<b>66,428,843</b>	<b>66,156,868</b>	<b>55,772,482</b>	<b>60,920,395</b>
元本	60,272,291	60,900,426	61,469,743	63,589,674	62,470,878	63,251,206
次期繰越損益金	11,469,827	7,869,896	4,959,100	2,567,194	△ 6,698,396	△ 2,330,811
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>60,272,291口</b>	<b>60,900,426口</b>	<b>61,469,743口</b>	<b>63,589,674口</b>	<b>62,470,878口</b>	<b>63,251,206口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>11,903円</b>	<b>11,292円</b>	<b>10,807円</b>	<b>10,404円</b>	<b>8,928円</b>	<b>9,631円</b>

(注) 当ファンドの第17期首元本額は60,075,971円、第17～22期中追加設定元本額は10,378,790円、第17～22期中一部解約元本額は7,203,555円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第17期1.1903円、第18期1.1292円、第19期1.0807円、第20期1.0404円、第21期0.8928円、第22期0.9631円です。

(注) 2016年3月14日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は2,330,811円です。

## ○損益の状況

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
	2015年9月15日～ 2015年10月14日	2015年10月15日～ 2015年11月16日	2015年11月17日～ 2015年12月14日	2015年12月15日～ 2016年1月14日	2016年1月15日～ 2016年2月15日	2016年2月16日～ 2016年3月14日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	171	233,913	469,373	243,042	237,289	1
受取配当金	—	233,798	469,268	242,938	237,194	—
受取利息	171	115	105	104	95	1
(B) 有価証券売買損益	2,696,863	△ 3,272,773	△ 2,779,607	△ 2,150,185	△ 8,752,231	4,964,993
売買益	2,699,356	19	2,061	338	157,400	5,037,336
売買損	△ 2,493	△ 3,272,792	△ 2,781,668	△ 2,150,523	△ 8,909,631	△ 72,343
(C) 信託報酬等	△ 69,204	△ 77,095	△ 62,487	△ 68,678	△ 64,305	△ 52,597
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,627,830	△ 3,115,955	△ 2,372,721	△ 1,975,821	△ 8,579,247	4,912,397
(E) 前期繰越損益金	△ 5,279,074	△ 3,250,557	△ 6,891,622	△ 9,851,492	△11,923,797	△20,099,277
(F) 追加信託差損益金	14,723,793	14,845,412	14,838,140	15,030,403	14,429,356	13,488,581
(配当等相当額)	( 12,400,342)	( 12,593,710)	( 12,821,140)	( 13,439,726)	( 13,312,627)	( 13,700,467)
(売買損益相当額)	( 2,323,451)	( 2,251,702)	( 2,017,000)	( 1,590,677)	( 1,116,729)	(△ 211,886)
(G) 計(D+E+F)	12,072,549	8,478,900	5,573,797	3,203,090	△ 6,073,688	△ 1,698,299
(H) 収益分配金	△ 602,722	△ 609,004	△ 614,697	△ 635,896	△ 624,708	△ 632,512
次期繰越損益金(G+H)	11,469,827	7,869,896	4,959,100	2,567,194	△ 6,698,396	△ 2,330,811
追加信託差損益金	14,723,793	14,845,412	14,838,140	15,030,403	14,429,356	13,488,581
(配当等相当額)	( 12,400,342)	( 12,593,710)	( 12,821,140)	( 13,439,726)	( 13,312,627)	( 13,700,467)
(売買損益相当額)	( 2,323,451)	( 2,251,702)	( 2,017,000)	( 1,590,677)	( 1,116,729)	(△ 211,886)
分配準備積立金	5,458,505	5,000,601	4,732,647	4,257,918	3,621,911	2,813,089
繰越損益金	△ 8,712,471	△11,976,117	△14,611,687	△16,721,127	△24,749,663	△18,632,481

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2015年9月15日～2016年3月14日)は以下の通りです。

項 目	2015年9月15日～ 2015年10月14日	2015年10月15日～ 2015年11月16日	2015年11月17日～ 2015年12月14日	2015年12月15日～ 2016年1月14日	2016年1月15日～ 2016年2月15日	2016年2月16日～ 2016年3月14日
a. 配当等収益(経費控除後)	164円	156,818円	406,886円	174,364円	172,984円	1円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	12,400,342円	12,593,710円	12,821,140円	13,439,726円	13,312,627円	13,700,467円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	6,061,063円	5,452,787円	4,940,458円	4,719,450円	4,073,635円	3,445,600円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	18,461,569円	18,203,315円	18,168,484円	18,333,540円	17,559,246円	17,146,068円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	3,063円	2,989円	2,955円	2,883円	2,810円	2,710円
g. 分配金	602,722円	609,004円	614,697円	635,896円	624,708円	632,512円
h. 分配金(1万口当たり)	100円	100円	100円	100円	100円	100円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

## ○分配金のお知らせ

---

	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
1 万円当たり分配金（税込み）	100円	100円	100円	100円	100円	100円

## ○お知らせ

---

### 約款変更について

2015年9月15日から2016年3月14日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

ご参考

「資産、負債、元本及び基準価額の状況」および「損益の状況」に記載している一般的な項目についての説明。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	説 明
(A) 資産	ファンドの有する財産の合計額
コール・ローン等	金融機関向けの短期貸付資金や短期金融商品等の残高
各有価証券等(評価額)	株や債券、ファンド等の有価証券等の評価額
未収入金	入金予定の有価証券の売却代金等
未収配当金	入金予定の株式等の配当金
未収利息	入金予定の債券等の利息
(B) 負債	支払い予定額の合計
未払金	支払い予定の有価証券の買付代金等
未払収益分配金	支払い予定の収益分配金
未払信託報酬	支払い予定の信託報酬の金額
(C) 純資産総額(A－B)	ファンド全体の評価金額
元本	ファンドの元本部分の残高
次期繰越損益金	純資産総額と元本残高との差額で、翌期に繰越す損益金の合計額
(D) 受益権総口数	受益者の保有総口数
1(万)口当たり基準価額(C÷D)	ファンドの単位当たりの時価

○損益の状況

項 目	説 明
(A) 配当等収益	ファンドが直接受け取った配当金や利息等の合計
受取配当金	ファンドが直接受け取った株式等の配当金の合計
受取利息	ファンドが直接受け取ったコール・ローンや債券等の利息の合計
(B) 有価証券売買損益	有価証券売買時の損益と評価損益の合計
売買益	各有価証券の売買益と期末評価益の合計
売買損	各有価証券の売買損と期末評価損の合計
(C) 信託報酬等	信託報酬や保管費用等のファンドの経費
(D) 当期損益金(A+B+C)	当期における収支合計
(E) 前期繰越損益金	前期分の繰越損益金と分配準備積立金の合計から当期中の解約で発生する取り崩し分を控除した金額
(F) 追加信託差損益金	受益者がファンドに新規に払込んだ金額とファンドの元本との差額(基準価額と単位当たり元本との差額)を調整した金額
(配当等相当額)	(配当等に相当する額)
(売買損益相当額)	(売買損益に相当する額)
(G) 計(D+E+F)	期中の収支の総合計額
(H) 収益分配金	収益分配金の合計額
次期繰越損益金(G+H)	翌期に繰り越す損益金の合計額(期中の収支の総合計額から収益分配金の金額を引いたもの)
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金
(配当等相当額)	(配当等に相当する額)
(売買損益相当額)	(売買損益に相当する額)
分配準備積立金	分配金を支払うための準備積立金
繰越損益金	繰越損益の合計金額

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラス A	
	モーリシャス籍円建外国投資法人	
運用の基本方針		
基本方針	主として、インド企業の株式に分散投資することにより長期的な信託財産の成長を目標に運用を行ない、インドの高度成長を享受することをめざします。	
主な投資対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インド企業の発行するインド・ルピー建株式</li> <li>・インド企業の発行する当該株式を裏付けとした預託証券（DR）</li> <li>・インド・ルピー建あるいは米ドル建の流動性の高い短期金融資産</li> </ul>	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として、ムンバイの金融商品取引所に上場しているインド企業のインド・ルピー建株式を投資対象とし、分散投資することにより長期的な信託財産の成長を目標に運用を行ない、インドの高度成長を享受することをめざします。</li> <li>・純資産総額の80%以上をインド・ルピー建株式および当該株式を裏付け資産とした預託証券（DR）に投資します。</li> <li>・リスクヘッジのため派生商品、主に先物取引に投資する可能性があります。主な投資対象ではありません。</li> <li>・外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行いません。</li> <li>・ただし、市況動向や資金動向その他の要因によっては、上記のような運用ができない場合があります。</li> </ul>	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1銘柄の組入れは、原則として組入れ時の純資産総額の10%を限度として投資します。</li> <li>・投資信託証券への投資は、純資産総額の5%を上限とします。</li> <li>・借入残高の合計金額が、純資産総額の10%未満の範囲で借入れを行なう場合があります。</li> </ul>	
収益分配	原則として、毎月分配を行いません。なお、運用会社の判断により収益分配を行わないことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.7%（国内における消費税等相当額はかかりません。）	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
運用会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド	
信託期間	無期限	
決算日	原則として、毎年3月31日	



## Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd

## 包括利益計算書

2015年3月31日までの1年間

単位：日本円

## 収益（損失）

配当収入	71,779,333
損益を通じて公正価値評価される金融資産の公正価値のその他の純変動額 為替差益	2,173,216,018
	16,656,589
<b>純収益（損失）合計</b>	<b>2,261,651,940</b>

## 費用

投資運用報酬	35,672,353
取引費用	22,328,968
管理報酬	10,580,689
税金費用	3,822,063
保管費用	2,807,417
為替差損	1,348,655
銀行手数料	2,609,922
監査報酬	2,362,262
取締役報酬	1,090,546
ライセンス料	475,240
現金保管手数料	208,141
<b>費用合計</b>	<b>83,306,256</b>

<b>税引前利益</b>	<b>2,178,345,684</b>
--------------	----------------------

所得税	(2,070,698)
-----	-------------

<b>運用によるクラス A 投資主に帰属する純資産の増加</b>	<b>2,176,274,986</b>
----------------------------------	----------------------

Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd  
 財政状態計算書  
 2015年3月31日現在

単位：日本円

## 資産

## 流動資産

損益を通じて公正価値評価される金融資産	4,462,747,941
受取債権	2,041,752
現金および現金同等物	117,713,005

## 資産合計

4,582,502,698

## 資本

投資主資本 — 出資者持分	11,619
---------------	--------

## 資本合計

11,619

## 負債

## 流動負債

未払所得税	39,762
支払債務	14,468,107
負債（クラスA投資主に帰属する純資産を除く）	14,507,869

クラスA投資主に帰属する純資産

4,567,983,210

## 負債および資本合計

4,582,502,698

クラスA投資証券の発行済残高

2,338,644,505

クラスA投資証券1口当たり純資産価額

1.9533

Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd  
 投資主に帰属する純資産変動計算書  
 2015年3月31日までの1年間

	口数	単位：日本円
期首現在のクラスA投資主に帰属する純資産	4,150,545,210	5,530,091,625
クラスA投資証券の発行による受取代金	61,059,653	106,856,575
クラスA投資証券の買戻による支払代金	(1,938,595,664)	(3,245,239,976)
分配金自動再投資の受取代金	65,635,306	116,166,727
証券取引による純減少	(1,811,900,705)	(3,022,216,674)
分配金の支払い	—	(116,166,727)
運用によるクラスA投資主に帰属する純資産の増加	—	2,176,274,986
期末現在のクラスA投資主に帰属する純資産	2,338,644,505	4,567,983,210

資本は出資者持分のみで構成されている。出資者持分は変更がないことから、取締役会の意見では資本変動に関する十分な情報は記載されており、したがって、2015年については資本変動計算書を作成していない。

## 損益を通じて公正価値評価される金融資産の一覧表

2015年3月31日現在

保有株数	銘柄	市場価格	純資産に対する割合 (%)
	<i>煙草</i>		
284,000	ITC Limited	177,494,960	3.89
	<i>エンジニアリング</i>		
53,000	Larsen and Toubro	174,809,848	3.83
		174,809,848	3.83
	<i>銀行</i>		
69,000	Axis Bank	74,138,220	1.62
95,000	HDFC Bank	186,346,750	4.08
212,000	Housing Development Finance Corp	534,986,345	11.71
210,000	ICICI Bank	127,077,488	2.78
54,000	Indusind Bank Limited	91,765,079	2.01
		1,014,313,882	22.2
	<i>電子機器</i>		
130,000	InfosysTechnology	553,125,119	12.11
40,000	HCL Technologies Ltd	75,216,523	1.65
		628,341,642	13.76
	<i>多角化企業</i>		
58,518	Reliance Industries Ltd	92,708,485	2.03
	<i>医薬品</i>		
10,000	Dr Reddy's Laboratories	66,914,434	1.46
133,000	Sun Pharmaceuticals Inds Ltd	261,191,564	5.72
		328,105,998	7.18
	<i>インフラストラクチャー</i>		
175,000	IDFC Ltd	56,036,943	1.23
145,000	Tata Motors Ltd	153,016,601	3.35
9,000	Hero Motocorp Ltd	45,568,370	1.00
		254,621,914	5.58
	<i>メディア</i>		
330,000	Dish TV India Ltd	51,869,595	1.14
3,169,118		51,869,595	1.14
	<i>その他</i>		
320,000	Hindalco Industries Ltd	79,175,288	1.73
14,600	Maruti Suzuki India Ltd	103,536,476	2.27
15,000	Lupin Ltd	57,781,849	1.26
40,000	Bharat Petroleum Company	62,204,771	1.36
67,000	TATA Consult Services Ltd	328,198,925	7.18
30,000	Mahindra & Mahindra Ltd	68,346,226	1.50
20,000	Ultratech Cement Ltd	110,396,589	2.42
73,000	Bharti Airtel	55,067,678	1.21

保有株数	銘柄	市場価格	純資産に対する 割合 (%)
26,000	Yes Bank Ltd	40,679,948	0.89
19,000	Ace Limited	56,949,914	1.25
45,000	LIC Housing Finance Ltd	37,769,374	0.83
18,000	Bharat Forge Limited	44,082,107	0.97
84,000	Tech Mahindra Ltd	101,452,544	2.22
50,000	Adani Ports and special economic zone	29,556,472	0.65
26,000	Apollo Hospitals Enterprise Ltd	68,279,479	1.49
37,000	Aurobindo Pharma	86,692,337	1.90
15,000	Britannia Industries Ltd	62,101,678	1.36
15,000	Container Corp of India Ltd	45,568,946	1.00
30,000	Cummins India Ltd	50,672,760	1.11
29,000	J.K. Cement Ltd	37,049,930	0.81
26,000	Kaveri Seed Co Ltd	49,112,653	1.08
20,000	Shriram Transport Finance Ltd	42,746,600	0.94
87,000	SKS MicroFinance Ltd	76,416,524	1.67
55,000	UPL Ltd	46,642,549	1.02
		<u>1,740,481,617</u>	<u>38.12</u>
	損益を通じて公正価値評価される金融資産合計	<u>4,462,747,941</u>	<u>97.73</u>

# マネー・アカウント・マザーファンド

## 運用報告書

第6期（決算日 2015年10月13日）  
 （2014年10月15日～2015年10月13日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

### ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%		%	百万円
2期(2011年10月12日)	10,018		0.1		66.8	598
3期(2012年10月12日)	10,027		0.1		78.6	699
4期(2013年10月15日)	10,035		0.1		88.6	778
5期(2014年10月14日)	10,042		0.1		60.8	707
6期(2015年10月13日)	10,043		0.0		62.9	620

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%		%
2014年10月14日	10,042		—		60.8
10月末	10,042		0.0		62.0
11月末	10,042		0.0		63.1
12月末	10,042		0.0		80.5
2015年1月末	10,042		0.0		78.1
2月末	10,042		0.0		80.8
3月末	10,042		0.0		80.3
4月末	10,043		0.0		78.0
5月末	10,043		0.0		81.5
6月末	10,043		0.0		74.5
7月末	10,043		0.0		77.7
8月末	10,043		0.0		83.9
9月末	10,043		0.0		59.8
(期 末)					
2015年10月13日	10,043		0.0		62.9

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2014年10月15日～2015年10月13日)

## 基準価額の推移

期首10,042円の基準価額は、期末に10,043円となり、騰落率は+0.0%となりました。

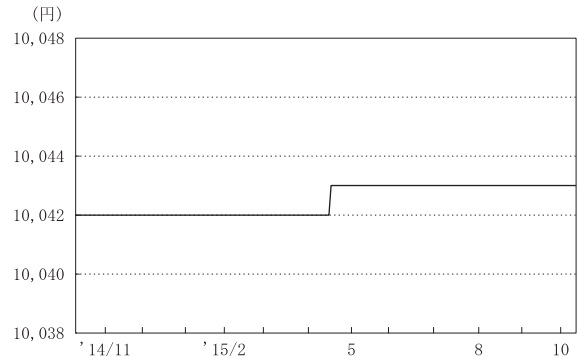
## 基準価額の変動要因

期中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・利息収入などを得たこと。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2014/10/14	2015/04/16	2014/10/15	2015/10/13
10,042円	10,043円	10,042円	10,043円

## (国内短期金利市況)

期中、無担保コール翌日物金利は、概ね0.05～0.09%の範囲で安定的に推移しました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期首の-0.01%近辺から、2014年11月下旬にかけては、日銀による積極的なTBの買入れ姿勢などを背景にマイナス金利幅を拡大し、-0.08%台となりました。12月には、日銀がTBの買入れ額を減額したことなどを背景に、0.00%近辺まで上昇しました。その後、2015年8月にかけては、ギリシャの債務問題を背景としたユーロ圏からの資金流入などもあり一時的に-0.07%台まで低下する局面があったものの、概ね0.00%近辺で、もみ合う展開となりました。9月以降は、決算期末を控えた金融機関からのTB需要の増加などを背景に低下基調となり、-0.00%台半ばで期末を迎えました。

## ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## ○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。



## ○1万口当たりの費用明細

(2014年10月15日～2015年10月13日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2014年10月15日～2015年10月13日)

公社債
-----

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	2,950,136	860,151 (2,130,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 債券現先を含めています。

## ○利害関係人との取引状況等

(2014年10月15日～2015年10月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。
---

## ○組入資産の明細

(2015年10月13日現在)

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	390,000 (390,000)	389,999 (389,999)	62.9 (62.9)	— (—)	— (—)	— (—)	62.9 (62.9)
合 計	390,000 (390,000)	389,999 (389,999)	62.9 (62.9)	— (—)	— (—)	— (—)	62.9 (62.9)

(注) ( )内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末				
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第487回国庫短期証券	—	10,000	9,999	2015/10/20	
第548回国庫短期証券	—	80,000	79,999	2015/11/2	
第550回国庫短期証券	—	300,000	299,999	2015/11/9	
合 計		390,000	389,999		

## ○投資信託財産の構成

(2015年10月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 389,999	% 62.8
コール・ローン等、その他	231,217	37.2
投資信託財産総額	621,216	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年10月13日現在)

項	目	当	期	末
				円
(A) 資産				621,216,535
	コール・ローン等			231,216,386
	公社債(評価額)			389,999,748
	未収利息			401
(B) 負債				924,526
	未払解約金			924,526
(C) 純資産総額(A-B)				620,292,009
	元本			617,609,609
	次期繰越損益金			2,682,400
(D) 受益権総口数				617,609,609口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,043円

(注) 当ファンドの期首元本額は704,168,192円、期中追加設定元本額は770,941,963円、期中一部解約元本額は857,500,546円です。

(注) 2015年10月13日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・エマーゼン・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	95,233,104円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	1,218,744円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	91,066,091円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし	1,177,237円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	61,436,266円	・エマーゼン・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	1,169,358円
・世界標準債券ファンド	57,050,631円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	1,038,295円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル・コース>(毎月分配型)	45,960,954円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	1,017,104円
・エマーゼン・プラス(マネーボールファンド)	42,822,373円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり(適格機関投資家向け)	997,540円
・エマーゼン・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース	36,944,504円	・日興キャピタル・ストラテジー・ファンド毎月分配型(通貨アルファ戦略コース)	964,921円
・エマーゼン・プラス・成長戦略コース	27,913,517円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)ブラジルレアルコース	804,077円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	26,800,196円	・世界のサイフ2(毎月分配型)	645,033円
・ビムUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし	16,037,711円	・アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)インドネシアルピア・コース	558,564円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	11,824,748円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり	402,825円
・グリーン世銀債ファンド	10,609,320円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	300,471円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略コース)	8,682,325円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジなし(適格機関投資家向け)	208,022円
・エマーゼン・プラス・円戦略コース	6,951,132円	・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	170,873円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	152,998円
・グローバルCOC債ファンド 新興国高金利通貨コース	5,032,492円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型)為替ヘッジあり	138,436円
・SMB C・日興 世銀債ファンド	4,812,948円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)資源国通貨コース	132,011円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	3,891,723円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	130,355円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	3,807,065円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(通貨プレミアムコース)	110,872円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	3,755,103円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマーゼン)	99,902円
・高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)	3,722,637円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)オーストラリアドルコース	89,495円
・グローバルCOC債ファンド 先進国高金利通貨コース	3,322,114円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	78,627円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	3,099,961円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)ヘッジなしコース	76,608円
・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	2,880,920円	・日興キャピタル・ストラテジー・ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	72,395円
・グローバルCOC債ファンド(毎月分配型)	2,880,123円	・インド株式ファンド	69,792円
・アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)ブラジルレアル・コース	2,647,116円	・アジア債券ファンド(毎月分配型)	50,519円
・ビムUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり	2,646,769円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型)為替ヘッジなし	48,171円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	2,629,139円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	2,207,568円	・上場インデックスファンド中国日株(ハンセン中国企業株)	19,983円
・エマーゼン・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	1,984,200円	・上場インデックスファンド米国日株(S&P500)	19,983円
・日興グラビティ・ファンド	1,938,328円	・上場インデックスファンドCNX Nifty 先物(インド株式)	19,983円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,864,936円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・グローバルCOC債ファンド ヘッジなしコース	1,701,206円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型)為替ヘッジなし	18,156円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	1,420,675円	・シンガポール高配当株式ファンド(毎月分配型)	10,645円
・日興GSグロース・マーケット・ファンド	1,345,004円	・上場インデックスファンド新興国債券(パークレイズLocal EM国債)	9,981円
・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	1,344,658円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型)為替ヘッジあり	8,655円
・アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)インドルピー・コース	1,293,114円		

(注) 1口当たり純資産額は1.0043円です。

## ○損益の状況

(2014年10月15日～2015年10月13日)

項	目	当	期
			円
(A)	配当等収益		117,450
	受取利息		117,450
(B)	有価証券売買損益		454
	売買益		454
(C)	当期損益金(A+B)		117,904
(D)	前期繰越損益金		2,933,341
(E)	追加信託差損益金		3,269,014
(F)	解約差損益金		△3,637,859
(G)	計(C+D+E+F)		2,682,400
	次期繰越損益金(G)		2,682,400

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

## ○お知らせ

## 約款変更について

2014年10月15日から2015年10月13日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2013年6月に改正された金融商品取引法および投資信託及び投資法人に関する法律ならびにこれに関連する政令・内閣府令が2014年12月1日に施行されたため、改正後の法令に対応させるべく、2014年12月1日付にて信託約款に所要の変更を行ないました。(第21条の2、第38条、第43条、第44条)
- 当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2015年1月16日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(付表)